

東伊豆町
片瀬白田地区の
郷土料理

おぼろ押し寿司

販売時期 通年

伊豆太陽地区の片瀬白田地区では、魚の身をゆでてほぐして炒り酢飯に乗せて松竹梅をかたどった木枠で作る「おぼろ押し寿司」が、祭典や家族の大切な行事ごとに振る舞われています。地元では、そばろではなく「おぼろ」と呼ばれています。

現在は食の安全面や食材の入手、物価の上昇などの影響で、多くはツナ缶で代用されていますが、伝統的な手法で丁寧に「おぼろ」を作り、昔ながらの味を保ち続けています。

女性部伊豆太陽地区本部の食品加工グループ「なかよし会」は約25年前、朝市の活性化を図るために加工食品の活動を始めました。現在は2人の会員が週に一度活動し、押し寿司はもちろん赤飯や草餅などを熱川支店朝市会で月曜日に販売しています。この伝統的な「おぼろ押し寿司」を目当てに来店するお客さまもいるほどの人気です。



©よい食プロジェクト

風土Food

東伊豆町 片瀬白田地区の おぼろ押し寿司



松 竹 梅



細く長く続けて
いきたいです!!

「熱川支店 朝市会」で
好評販売中です

材料(約25個分)

米	5合	甘酢用	
ツナ缶	420g	酢	200cc
しょうゆ	小さじ1/4 (1.5g)	砂糖	265g
砂糖	175g	塩	35g
塩	小さじ1/4 (1.5g)	材料を混ぜ ひと煮立ちさせておく	

- 作り方
- 1 ツナの油と水をよく切り、手でほぐしながら鍋に入れる。砂糖、しょうゆ、塩を入れ中火で汁気がなくなるまで炒る
 - 2 炊飯器にといだ米を入れ、通常炊飯する。
 - 3 炊き上がったら5分蒸らし、甘酢を回し入れ再び10分蒸らしてご飯に吸わせる。
 - 4 出来上がった酢飯を寿司バチなどに移し、しゃもじで切るように混ぜて冷ます。
 - 5 酢飯を型枠に軽くいっぱいまで詰め、押し板で軽く押す。
 - 6 押し板を外し、空いた部分におぼろを詰め、再度、押し板で軽く押し型枠を持ち上げながら抜く。

一言メモ
強く押しすぎると
固くなってしまうので注意!!
押し板にラップをすると
型から抜きやすくなるよ



赤飯、草餅、
五目寿司も
販売して
います。

熱川支店朝市会
JAカード割引対象店舗



【住 所】〒413-0302 賀茂郡東伊豆町奈良本241
【営業時間】平日 8:30~16:30 (土曜日 8:30~12:00)
【定休日】日曜日・祝日・12/31~1/3
【お問い合わせ先】TEL0557-23-1255

JAの無料年金相談会を開催!!

年金相談会日程

8月9日(水) 9:00~15:00 南中支店 TEL0558-62-0511	8月29日(火) 9:00~15:00 下田支店 TEL0558-22-0814	8月30日(水) 9:00~15:00 河津桜支店 TEL0558-32-0303	9月6日(水) 9:00~15:00 竹麻支店 TEL0558-62-0305	9月20日(水) 9:00~15:00 白浜支店 TEL0558-22-0861	10月4日(水) 9:00~15:00 仁科支店 TEL0558-52-0036
--	---	--	--	---	---

※ご相談される方の人数により、お待ちいただく場合があります。事前にご予約されることをお勧めします。
ご予約・お問い合わせは上記の開催支店へご連絡ください。
※JAふじ伊豆 伊豆太陽地区では随時ご相談を受け付けております。まずはお近くの支店へお気軽にご連絡ください。



JAふじ伊豆
ホームページ

食育活動で地域交流

3支部でスタート!

5/11
熱川支部
熱川小学校4年生
24人
熱川幼稚園
30人

5/11
稲取支部
稲取小学校3年生
30人



おいしいお芋になーね



伊豆太陽地区 NEWS

6/12
河津支部
河津小学校
73人



青壮年部伊豆太陽地区本部と JA 職員は、地域の幼稚園や小学校と食農教育の一環で、サツマイモのつる挿しを行いました。部員が先生となり、つるの挿し方を教え、園児や児童は一列に並び、用意された植穴をスコップで掘りしっかり挿しました。収穫は10月ごろの予定で、女性部伊豆太陽地区本部と、収穫したサツマイモを用いて、おやつ作りをする予定です。子どもたちが地域での農業体験や生産者との交流によって食農教育に貢献できるよう年間を通して活動していきます。



放送 6/11 「ごちそうカントリー」で伊豆太陽地区の「カンガルーポー」が放送されました。

静岡県JAの自主制作番組「ごちそうカントリー」(静岡第一テレビ)で伊豆太陽地区の「カンガルーポー」が6月11日(日)に紹介されました。園地訪問やフラワーアレンジメントに挑戦し花の魅力を発信しました。

伊豆太陽地区で生産されている国内でも珍しい花「カンガルーポー」は、オーストラリア原産で暑さに強く寒さに弱いため、伊豆半島の温暖な気候が適地とされ栽培が始まりました。リポーターの國本良博さんと澤井志帆アナウンサーが生産者の鳥澤義和さんの園地を訪れ、花の由来や栽培方法などについて紹介し収穫体験を行いました。

「アートフラワーショップ」のデザイナー鈴木颯人さんが「カンガルーポー」を中心にしたフラワーアレンジメントを指導し、リポーターの2人が「カンガルーポー」をメインにカーネーションやひまわりなどの花材を使ったアレンジメントに挑戦しました。

今回の主役
カンガルーポーです



國本良博さん 澤井志帆アナウンサー 鳥澤義和さん



鈴木颯人さん



澤井アナは大胆に思いきりよく次々に生けていきました。題名「自由奔放」

國本さんは慎重にあれこれ悩んできれいにまとめていました。

國本さん作

澤井アナウンサー作

TOPICS 6/19

漢方薬原料目ぞろえ会



選果機で規格を確認する生産者

東伊豆営農経済センターは、河津町にある柑橘第一共選場で漢方薬原料の目ぞろえ会を開き、生産者ら約20人が参加しました。目ぞろえ会では、製薬会社担当者が「漢方薬原料の枳実(甘夏とダイダイの未熟な果実を半分に取り乾燥させたもの)の必要量が増加しているため、生産拡大をお願いしたい」と呼びかけました。本年度は2.5トンの出荷が見込まれています。JAの合併により、昨年からは伊豆地区(熱海市・伊東市)の生産者も徐々に加わり、本年は新たに5人加わる予定です。

TOPICS 6/14

聴覚障がい者雇用の研修会



手話で簡単なあいさつを学ぶ職員ら

伊豆太陽地区では6月から聴覚障がい者を初めて雇用するにあたり、県賀茂健康福祉センター福祉課の手話通訳者森野裕之さんを講師に招き研修会を開きました。伊豆太陽地区本部・下田支店の職員40人が受講し、迎え入れる準備を整えました。聴覚障がい者とのコミュニケーションでは、肩や腕をたたいてから話しかけること、実物を指し示すなどの配慮が必要なことを学びました。研修会の最後には、職員同士で自己紹介や簡単なあいさつなどの手話を練習しました。

TOPICS 6/12

いきいきライフセミナー始動



睡眠セミナーを聞く参加者

女性部伊豆太陽地区本部は4地区で「いきいきライフセミナー」の開講式を行い、クラブ活動(手芸・陶芸・料理・営農加工・健康など)について内容と日程を説明しました。渡邊良子部長は「それぞれのクラブで学び合い親睦を深めていきたい」と話しました。開講式では、東洋羽毛株式会社の上級睡眠健康指導士 田森雄治氏による「睡眠セミナー」も実施。「寝姿勢圧測定や認知症リスクと睡眠の関係性」などについて講演を行い、参加者は睡眠の重要性を学びました。

TOPICS 5/24

JA 共済シルバー向け交通安全教室



落語で楽しく呼びかけ

下田寿大学(下田市の生涯学習講座)で、JA共済連静岡県本部は静岡県交通安全協会 下田地区支部と連携して、高齢者の交通事故未然防止にむけて、落語を取り入れた「JA共済 シルバー向け交通安全教室」を開き、75人の受講生が参加しました。JA共済連静岡から敏捷性(びんしょうせい)測定棒が受講生に配布され自身の動作の素早さを確認しました。その後、落語家 林家久蔵師匠が、自身の体験エピソードを通じて「交通ルールを守ることの大切さ」や「ながら運転の危険性」を落語で楽しく伝えました。受講生たちは楽しみながらも真剣に耳を傾け、交通安全の重要性を再確認しました。